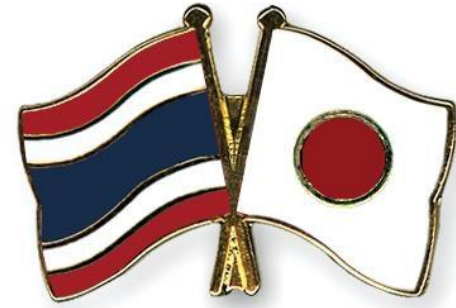
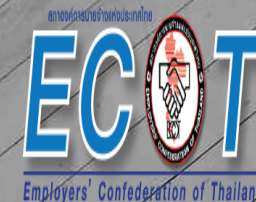


EREF 2023年12月11～15日



Siripong Intavadee氏

- 修士号：
 - > MBA
 - > 産業・組織心理学
- 学士号：
 - > 行政学タマサート大学
- ECOT顧問
- AU ALL Co., Ltd.のCEO
- HR/ODコンサルタント
- 様々な産業、例えば、石油ガス、小売、ショッピング・センター、不動産開発、公共交通機関、QSRなどにおいて経営者／幹部レベルで15年以上



タイの見通し

タイの労働力は、（労働年齢の成人55.6百万人のうち）就業者36.8百万人～38.3百万人と見積もられている（1Q2016）。約49%が農業、37%がサービス業、14%が工業に従事していた。2005年には、女性が、労働力の48%を占めており、専門職に占める割合を高めていた。タイの失業率は2014年時点で0.9%であり、2004年の2%から低下した。[世界銀行](#)の調査によると、タイ人労働人口のうち83.5%が非熟練である。

Quality Learning Foundation (QLF)、[トゥラキット・バンディット大学](#) (DPU) および世界銀行による共同研究では、12百万人のタイ人が、今後20年間のうちに自動化によって職を失う可能性があり、労働人口のうち3分の1の職位がなくなると示唆している。世界銀行は、タイの労働者は、マレーシアおよびシンガポールの労働者よりもそれぞれ2分の1および5分の1の低さの生産性であるの見積もっている。同報告書では、マレーシアのUS\$50,000およびシンガポールのUS\$122,000と比較して、2014年のタイの労働者の平均生産高をUS\$25,000（879,200パーツ）と評価している。[International Labor Office](#) (ILO) による2016年の報告書では、1年あたり2,500～4,500台の産業ロボットを追加していると推定されている、タイ国内の自動化工場によって、タイの労働者の70%以上が職を奪われる危機にあると見積もっている。

2015年度には、71,000人のタイ人が海外就労した。台湾が全体で最も多い59,220人のタイ人従業員を雇用し、続いて韓国が24,228人、イスラエルが23,479人、シンガポールが20,000人、そしてUAEが14,000人であった。大部分の従業員は金属生産、農業、繊維製造、電子部品製造の分野で働く。2020年時点で、タイ人海外移住労働者は1,400億パーツ相当の送金を生み出している。

タイ国内の移住労働者数は不明である。[労働省](#)所属外国人労働事務所によって報告された、公式人数1,339,834人のカンボジア、ラオスおよびミャンマーからの登録移住労働者は、合法的移住労働者だけを表している。さらに多くが非登録または不法移住民となっていると推定されている。[タイ開発研究所](#) (TDRI) は、タイには合法的な労働者よりもさらに多くの不法移住労働者がいる可能性があるとして推定している。



▲ 人口	69,950,844 (2021)
GDP	• \$5,740億 (名目、2023推定) • \$1.591兆 (PPP、2023推定)
GDP順位	• 27位 (名目、2023) • 23位 (PPP、2023)
GDP成長率	• 1.5% (2021) • 2.8% (2022予測) • 3.7% (2023予測)

人間開発指数 🇹🇵 • 0.800 最高位 (2021) ([66位](#))

• 0.646 中位 [IHD](#) (2019)

労働力 • 38,917,441人 (2019)

• 67.3%就業率 (2018)

失業率 1.1% (2020推定)

主産業 [自動車](#)および自動車部品 (11%)、[金融業](#) (9%)、電化製品および部品 (8%)、[観光](#) (6%)、[セメント](#)、自動車製造、[重軽工業](#)、[家電](#)、[コンピューター](#)および部品、[家具](#)、[プラスチック](#)、[繊維](#)および[服飾](#)、農産物加工、[飲料](#)、[タバコ](#)

[ビジネス環境](#)
[ランキング](#) [21位 \(とても簡易、2020\)](#)

タイの労働力ミスマッチ：現代の状況

タイに関しては、人的資源の不足（質と量の両方）が、経済の全潜在能力発揮のために緊急に対処する必要がある、より複雑な問題の象徴であった。したがって、HRMチームにとって労働力ミスマッチ問題をどう解決するかを決定することが困難だけでなく、国家レベルの問題解決に責任を負うタイのHRD役員および政策立案者にとっても、さらに困難になっている。実際、製造業部門のタイの労働市場に見られる量的および質的ミスマッチは、先進国と発展途上国の両方が直面しているものと同様であった。

タイの労働力ミスマッチ：現代の状況

- **量的**ミスマッチは、公式と非公式労働市場の両方から成る公式統計で報告された、低就業率または人手不足があった場合を指した。
- **質的**ミスマッチは、労働市場に垂直的ミスマッチまたは水平的ミスマッチが存在した状況を指した。垂直的ミスマッチは、求人市場に参加している労働者が雇用主によって必要とされたものよりも高水準の学歴または低水準の学歴を有していたときに存在した。これは学歴の高低差の課題である。水平的ミスマッチは、ある学問分野から卒業した労働者が、その学問分野と無関係の仕事に就業したときに発生した。

タイの労働力ミスマッチ：現代の状況

量的と質的ミスマッチの両種類の労働力ミスマッチは、労働市場問題としても人的資源管理課題としても現れる傾向がある。したがって、政策立案者は、既存の民間セクターの人的資源慣行が、長期的に有効である可能性が高いかどうか、そしてそうでなければ、どのようにタイの政策立案者が、単独でかまたは民間セクターと連携して、こうした問題を緩和する手助けができるかを判断することを目的として、労働市場におけるこの不均衡の根本原因を理解することを切望していた。

ありがとうございました。

Siripong Intavadee

